

〈支援企業を訪問しました〉

株式会社 高須賀製作所 殿

「人材のイノベーションで“感動製造業”の実現へ！」

株式会社高須賀製作所（高須賀重行社長、上尾市）は、昭和26年に鋳物用木型をつくる高須賀木工所として創業しました。その後鉄板加工に転じ、現在は切断、曲げ、溶接、製缶などの加工を幅広く扱う板金加工業です。得意とするのはレーザー加工で、業界でも屈指の設備と技術を有しています。同社のネットワークを利用して、3次元CADデータの作成から検査まで一貫して行える生産体制を築いています。製品の大部分は、食品機械や医療機械、産業機械、工作機械など生産設備関係部品です。これらの製品には、景気動向に敏感、少量多品種で短納期という特徴があり、常に柔軟な生産体制を維持していく必要があります。

同社では顧客の「ISOは必須」の流れを感じとり、実際の要請が来る前に認証取得を決心し、2011年春に無事ISO9001の認証を取得しました。しかしその後、ISO担当者の交代などもあって活動は停滞状態に陥り、それを危惧した責任者の高須賀博一専務は、アブセックに支援を要請し、ISO活動の経験が豊富な森岡孝さんが紹介されました。



担当者 と 協議する支援者



高須賀専務（左）と支援者

森岡さんは、早速現状を分析し、品質システムの補強とISO教育に重点的に取り組んだ結果、目前に迫っていた維持審査も好成績で終えることができました。

同社の経営理念は「感動製造業」です。顧客が感動し、社員が感動し、地域社会が感動することを目指しており、社員が守るべき10の行動指針も掲げています。理念達成に向け今後は、ISOの品質システムを中心とした業務システムの整備と人材育成というソフト面のイノベーションに力を入れていく計画です。人材育成は、図面（顧客要求）の理解力向上、品質教育、現場改善などを通じて行いますが、最も重視しているのはチーム力を発揮するために不可欠なコミュニケーション力の向上と同社では考えています。森岡さんはISOに引き続きこれらの面の指導も開始しました。

「当初森岡さんには維持審査対応だけをお願いするつもりだったが、仕事ぶりを見ていて、現場改善や従業員教育もお願いする気になった。アブセックの支援を今後ともお願いしたい」と高須賀専務は熱心に語っていました。（武藤 記）

上尾商工会議所は、桶川市商工会・伊奈町商工会・北本市商工会・鴻巣市商工会と連携して
県の中小企業支援事業であるエキスパートサポート事業に取り組んでいます。



ご意見・お問い合わせはこちらまで

上尾商工会議所 桶川市商工会 伊奈町商工会 北本市商工会 鴻巣市商工会
アブセック事務局 TEL 048-773-2391 E-mail abcec@ageocci.or.jp